

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5105 異文化理解の方法			開講形態 (隔週 偶数=隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	木曜3限				
教室	H403教室				
代表教員	馬場 淳				
担当教員	馬場 淳				
テーマと到達目標	異文化を理解するとはどういうことか？ 本講義では、異文化の理解に向き合う学問=文化人類学の方法や視座を学ぶことで、異文化や他者をよりよく理解するための能力を養う。具体的には、①異文化を理解するための態度・視点・方法論について理解を深める。②異文化の論理を学び、先進国・自文化中心の思考に対する相対的かつ批判的な視点を養う。				
概要	講義の前半では、異文化理解のための倫理的態度を押しこめ、文化人類学の成果にもとづき、異文化の世界観や人間観を具体的に検討する。また世界観に影響を与える言語の問題も考える。中盤では、フィールドワークを通していかなる(異)文化の論理が開示されるのかを具体的な事例とともに検討しながら、異文化理解の方法=フィールドワークのあり方について理解を深める。後半2回では、国際的廃絶運動や民族誌批判を通して、これまで学んだ文化相対主義や文化表象の問題について考える。なお授業は、基本的に講義形式で進めるが、質疑やリアクションペーパーを通じた授業への参加を求めることがある。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	ガイダンス：文化人類学のアプローチ				対面授業
第2回	異文化理解の倫理的態度：文化相対主義				対面授業
第3回	異文化の世界(1)世界観				対面授業
第4回	異文化の世界(2)超自然的存在とシャーマニズム				対面授業
第5回	異文化の世界(3)人間観				対面授業
第6回	異文化の世界(4)さまざまな結婚のかたちと論理				対面授業
第7回	言語の力：サビア=ウォーフの仮説				対面授業
第8回	異文化理解の方法：フィールドワークとは？				対面授業
第9回	フィールドワークから見える文化の論理(1)：家族				対面授業
第10回	フィールドワークから見える文化の論理(2)：通過儀礼				対面授業
第11回	フィールドワークから見える文化の論理(3)：呪術				対面授業
第12回	フィールドワークから見える文化の論理(4)：もめごとの処理				対面授業
第13回	文化をめぐる政治(1)：国際的廃絶運動と文化相対主義				対面授業
第14回	文化をめぐる政治(3)：異文化表象の問題				対面授業
第15回	総括				対面授業
成績評価の基準	<p>期末テスト(58%)、平常点(42%)にもとづき評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末テストは、授業内容の理解度を問うものとする。 ・平常点は、授業参加の態度、リアクションペーパー(毎回提出)から算出される。 				
履修にあたっての留意事項	・講義内容は主に海外の文化を対象にしているため、受講生には、自分の「常識」を投げ出す覚悟と異文化の論理に根気よく向き合う姿勢が必要とされる。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	とくになし		
教科書	とくに指定しない。各回の講義で配布するレジュメ・資料が「教科書」となる。	教科書(ISBN)	
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・綾部恒雄・桑山敬己（編）『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、2010年。 ・クリフォード、J.『文化の窮状——20世紀の民族誌、文学、芸術』（太田好信ほか訳）人文書院、2003年。 ・馬場淳『この子は俺の未来だーパプアニューギニア&ケニア “つながり”の文化人類学』佼成出版社、2014年。 その他、講義の中で適宜紹介する。	参考文献(ISBN)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">9784623056965</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">9784333026593</div>

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--